



小美玉特道第34号  
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

小美玉市長 島田 穰



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

標記のことについて、平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のあったことに対し、別紙のとおり提出します。

地方部においては、公共交通機関の未発達により、生活及び社会経済活動を支えているのは道路であり、本市はもとより茨城県においては、北海道に次ぐ道路延長を有し、まだまだ量的ストックが形成されたとは言い難く、都市と地方の地域格差を拡大させないためにも、地域の広域的な連携や交流を促進し、地域経済の活性化を推進する道路整備が必要であり、地方における道路利用の地域性、道路事情を踏まえた道路政策が望まれる。

また、量的ストックの形成された都市部においては、交通飽和状態を解消するための道路整備が進められており、費用対効果からも多額の事業費が投資されている。都市部と地方部とでは、費用対効果にも格差が生まれるのは必然であり、「地方分権社会」を構築し、均衡ある国土の発展と地域格差を是正するためにも、人・物の流れを都市部から地方部に流動化し、「都市の交通飽和の緩和」と「地方の活性化」の相乗効果を発現する道路整備が望まれる。

なお、本市においては、茨城空港の開港に伴い、広域幹線道路網の整備が喫緊の課題であり、常磐軸（常磐自動車道、国道6号等）や関東圏を連絡する北関東自動車道、東関東自動車道水戸線や空港へのアクセスする幹線道路網の早期完成が望まれており、安易なシーリングによる予算削減は、整備が先送りになるばかりか空港の利用促進と広域的な連携と交流の妨げとなるため、早期に相乗効果を発現するには、茨城空港事業をはじめとする他のプロジェクト等を総合的に評価した上で、予算の重点配分が望まれる。

○現状

本市は、茨城空港の開港に伴い開発ポテンシャルが向上し「首都圏の北の玄関口」として地域経済の活性化が期待されている。しかしながら反面、茨城空港の利用促進と需要拡大策、町村合併による新市の一体化、少子高齢化対策等が喫緊の課題である。

このような状況の中、本市は関東平野に位置し広大な可住地面積と道路延長を有しており、厳しい財政状況の中、社会資本の基本となる道路整備をより効率的・効果的に進める必要があり、開発ポテンシャルを活かし地域を活性化するためには、なおいっそうの重点化が求められている。

○課題

本市においては、茨城空港の開港に伴い、広域幹線道路網の整備が喫緊の課題であり、常磐軸（常磐自動車道、国道6号等）や関東圏を連絡する北関東自動車道、東関東自動車道水戸線や空港へとアクセスする幹線道路網の早期完成が望まれており、安易なシーリングによる予算削減は、整備が先送りになるばかりか空港の利用促進と広域的な連携と交流の妨げとなるため、早期に相乗効果を発現するには、茨城空港事業をはじめとする他のプロジェクト等を総合的に評価した上で、予算の重点配分が望まれる。

## 小美玉市の将来像

小川町・美野里町・玉里村の合併より誕生した本市が目指すまちの姿として、将来像を次のように定めます。

-----  
人が輝く 水と緑の交流都市  
-----

茨城空港の開港による交流人口の増加が見込まれる中で、人と人とのふれあいを大切にし、新しいまちづくりの活力へとつなげていくことで、希望あふれるまちづくりを進めます。

また、地域に存在する水や緑など自然資源を守り、これらとの共生を図ることで、豊富な自然資源に囲まれた田園環境を育み、やすらぎに満ちた生活都市の実現を図ります。

さらに、地域には自然資源のほかにも、歴史的な資源や文化を育む環境、充実したコミュニティの確立など、誇れる地域資源が存在しています。これらの地域資源と、茨城空港の開港に伴う都市基盤との融合による、魅力あふれる交流都市の実現を目指します。

## 道路整備の基本方針

市の将来像である「人が輝く 水と緑の交流都市」の実現をめざし、新市の一体性を速やかに確立し、広域的な交流を推進するため幹線道路網の整備促進を図ります。また、茨城空港の開港に伴い増大する人・モノの交流を支える道路交通体系の確立と安全・安心して暮らせる交通環境の確立を図ります。

### 《基本目標》

1. 交流・連携を支える道路整備
2. 暮らしのゆとりと安全・安心な道路整備
3. 地域の活力を育む道路整備

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式④

茨城県小美玉市

| ○重点事項                                         | ○代表事例                                                                                                                                           | ○期待する効果や評価等                                                                                                                                                                                                                                 | ○その他 |
|-----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <p>・国際競争力の強化のための交通サービスの向上</p> <p>・地域活力の向上</p> | <p>・国道6号千代田石岡バイパス及び美野里バイパスの整備促進</p> <p>・茨城空港関連の国、県道の整備促進</p> <p>・市道の改良工事</p> <p>・東関東自動車道水戸線及び北関東自動車道の整備促進</p> <p>・石岡・小美玉地区スマートインターチェンジの整備促進</p> | <p>空港とアクセスするための国道・県道等の主要幹線道路の整備と、これにネットワークする市道幹線道路の整備を図ることにより、人・物流の増加が見込まれるとともに、市の将来像とする空港を拠点とした交流都市をめざせる。</p> <p>また、各インターチェンジから空港へのアクセス時間の短縮が図られる。</p> <p>茨城空港の開港は、本市のみならず茨城県に大きな転機をもたらすもので、高規格幹線道路・地域高規格道路網の整備促進により、空港と道路との相乗効果が図られる。</p> |      |